

生誕 90 年 & 没後 20 年・藤沢周平 5月19日～7月19日

膨大な時代劇作品群を分類すると

藤沢周平は、昭和30年代より業界紙の記者を兼務しながら執筆活動に入り、昭和46年（1971年）に第38回オール讀物新人賞、翌年に第69回直木賞を受賞し、以降多くの時代劇作品を残しました。その作品群は膨大なだけに作者の置かれた状況により作品傾向が分かれています。

[昭和30・40年代 灰色の時代]

妻との死別、幼子の養育、病弱な母親の介護などが背景にあり、初期の作品群は悲劇的で暗い雰囲気のもので書かれています。

（この時代の代表作）

溟い海（第38回オール讀物新人賞受賞作品） ※「暗殺の年輪」（文春文庫）に所蔵

暗殺の年輪（第69回直木賞）

逆軍の旗

闇の梯子

☒ ※「暗殺の年輪」（文春文庫）に所蔵

[昭和 50 年代 転機]

業界紙記者を辞し、先に再婚したこともあり、生活の安定が徐々に確立しました。昭和 51 年に発表された「用心棒日月抄」を転機として作品にユーモアの要素が入るようになりました。

（この時代の代表作）

用心棒日月抄

竹光始末

隠し剣 孤影抄

隠し剣 秋風抄

[昭和 60 年代以降 円熟期 幅広い領域]

数々の作品を生み出すなかで昭和61年に第20回吉川英治文学賞、平成元年に第40回芸術選奨、第37回菊池寛賞を受賞するなど円熟期を迎えます。町人もの、ハードボイル風長編作品など作品領域がさらに広がりをみせています。

(この時代の代表作)

白き瓶 (第20回吉川英治文学賞)

時雨のみち

霜の朝

闇の傀儡師

漆黒の霧の中で

たそがれ清兵衛

※以上の作品は全て貸出可能です ([ブックリストはこちらです](#))。



「生誕 90 年 & 没後 20 年・藤沢周平」

略年表

1919年 藤沢周平誕生
1941年 東京府立第一高等学校卒業
1942年 東京府立第一高等学校教員
1945年 東京府立第一高等学校教員
1948年 東京府立第一高等学校教員
1950年 東京府立第一高等学校教員
1952年 東京府立第一高等学校教員
1954年 東京府立第一高等学校教員
1956年 東京府立第一高等学校教員
1958年 東京府立第一高等学校教員
1960年 東京府立第一高等学校教員
1962年 東京府立第一高等学校教員
1964年 東京府立第一高等学校教員
1966年 東京府立第一高等学校教員
1968年 東京府立第一高等学校教員
1970年 東京府立第一高等学校教員
1972年 東京府立第一高等学校教員
1974年 東京府立第一高等学校教員
1976年 東京府立第一高等学校教員
1978年 東京府立第一高等学校教員
1980年 東京府立第一高等学校教員
1982年 東京府立第一高等学校教員
1984年 東京府立第一高等学校教員
1986年 東京府立第一高等学校教員
1988年 東京府立第一高等学校教員
1990年 東京府立第一高等学校教員
1992年 東京府立第一高等学校教員
1994年 東京府立第一高等学校教員
1996年 東京府立第一高等学校教員
1998年 東京府立第一高等学校教員
2000年 東京府立第一高等学校教員
2002年 東京府立第一高等学校教員
2004年 東京府立第一高等学校教員
2006年 東京府立第一高等学校教員
2008年 東京府立第一高等学校教員
2010年 東京府立第一高等学校教員
2012年 東京府立第一高等学校教員
2014年 東京府立第一高等学校教員
2016年 東京府立第一高等学校教員
2018年 東京府立第一高等学校教員
2020年 東京府立第一高等学校教員

藤沢周平

藤沢周平は、戦時中から戦後にかけて活躍した作家である。代表作として、『霧隠才助』、『土蜘蛛』、『旗本退屈屋』などがある。その作品は、江戸時代を背景とした人情小説であり、読者の心を捉える力がある。また、その作風は、簡潔で力強い。藤沢周平の作品は、多くの人々に愛読されており、その人気は衰えることがない。藤沢周平の作品は、現代においても多くの読者から支持されている。藤沢周平の作品は、江戸時代を生き生きと描き出し、読者の心を捉える力がある。藤沢周平の作品は、多くの人々に愛読されており、その人気は衰えることがない。藤沢周平の作品は、現代においても多くの読者から支持されている。



映像で堪能する

「藤沢周平」の映像作品をご紹介します。藤沢周平の作品は、多くの人々に愛読されており、その人気は衰えることがない。藤沢周平の作品は、現代においても多くの読者から支持されている。藤沢周平の作品は、江戸時代を生き生きと描き出し、読者の心を捉える力がある。藤沢周平の作品は、多くの人々に愛読されており、その人気は衰えることがない。藤沢周平の作品は、現代においても多くの読者から支持されている。

ここに展示してあ本は貸出ができます

藤沢周平を
読む



ようこそ
若葉図書館へ

企画展示のご案内

「生誕90年&没後20年・藤沢周平」